

2. 罹患の状況 Cancer Incidence in 2014

■ 最新集計について

集計の期間

罹患年月日が平成26(2014)年1月1日から12月31日の間の1年間。過去の罹患年についても再集計。

集計の時期

平成29(2017)年9月30日現在

罹患年月日の決め方

- ① 届出による登録例は、初めて当該がんと診断された年月日を罹患年月日とする。
- ② 届出がなく、死亡小票の写しによってがん罹患が判明した例は、死亡年月日をもって罹患年月日とする。

集計対象

- ① ICD-O-3分類の性状2(上皮内)、3(悪性、浸潤性)で示される新生物。
- ② DCN例については、①に加えて、ICD-O-3分類の性状1(良性・悪性の別不詳:例 悪性の明示のない〇〇腫瘍)で示される新生物による死亡で、部位が頭蓋内の良性、良性・悪性別不詳の新生物。

精度指標

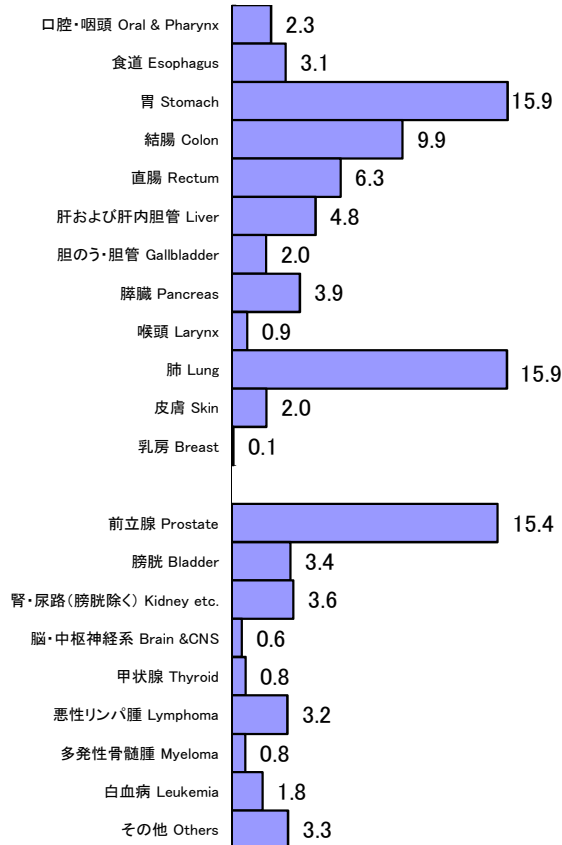
DCN:9.1% DCO:5.0% I/M:2.38

■ 罹患の概要

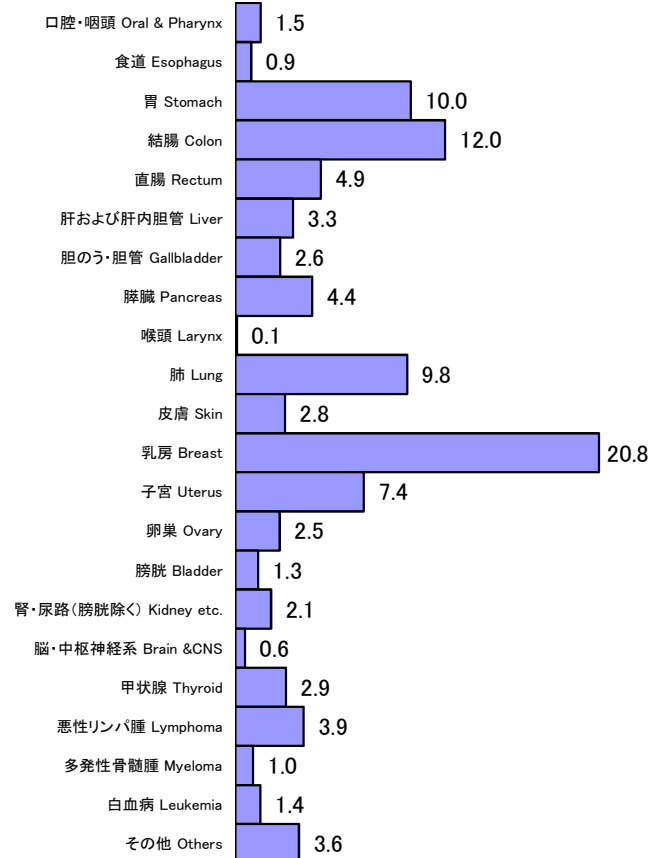
2014年に愛知県において、男性延べ25,957件、女性延べ18,121件の、合計44,078件のがんが、新たに診断された。男性で最も多いがんは肺がん及び胃がんであり、前立腺、結腸、直腸、肝および肝内胆管と続く。女性で最も多いがんは乳がんであり、結腸、胃、肺、子宮と続く(図1)。

図1 部位内訳(%) (表1-Aから作成) Figure 1 Percentage of Incident Cases of Cancer by site

男性 males 全年齢 all ages 25,957 件



女性 females 全年齢 all ages 18,121 件



年齢別にみたがんの罹患 Age-Specific Cancer Incidence

2014年に新たに診断されたがんは、年齢別にみると約72%が65歳以上だった。一方、男女とも働き盛りの40-64歳の年齢層も全体の約26%を占めている(図2)。

女性の15-64歳において、特に乳がんの罹患割合が高い。また、女性の15-64歳のがんが男性よりも多いのは、この年齢層の乳がんと子宮がんが多いためである(図3)。

主ながんの年齢階層別罹患率をみると、胃がんは男性60歳以上、女性70歳以上、結腸がんは男性60歳以上、女性65歳以上で、それぞれ千人に1人以上が罹患している。乳がんは、30-49歳の間に急激に増加し、60-64歳を境に徐々に減少している。また、子宮がんは20-30歳代の若い世代において、特に上皮内がんの罹患が目立っている(図4)。

図2 年齢別内訳(%) (表2-Aから作成)

Figure 2 The Number and Percentage of Incident Cases of Cancer by age-group

年齢階層 Age group	14歳以下	15-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
男性 Males	82	373	5,589	9,575	10,338	25,957
女性 Females	59	694	5,632	4,869	6,867	18,121

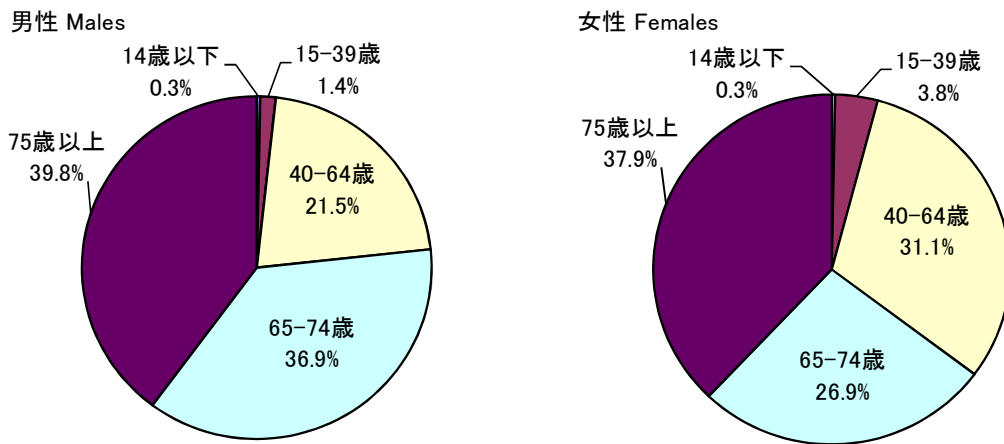
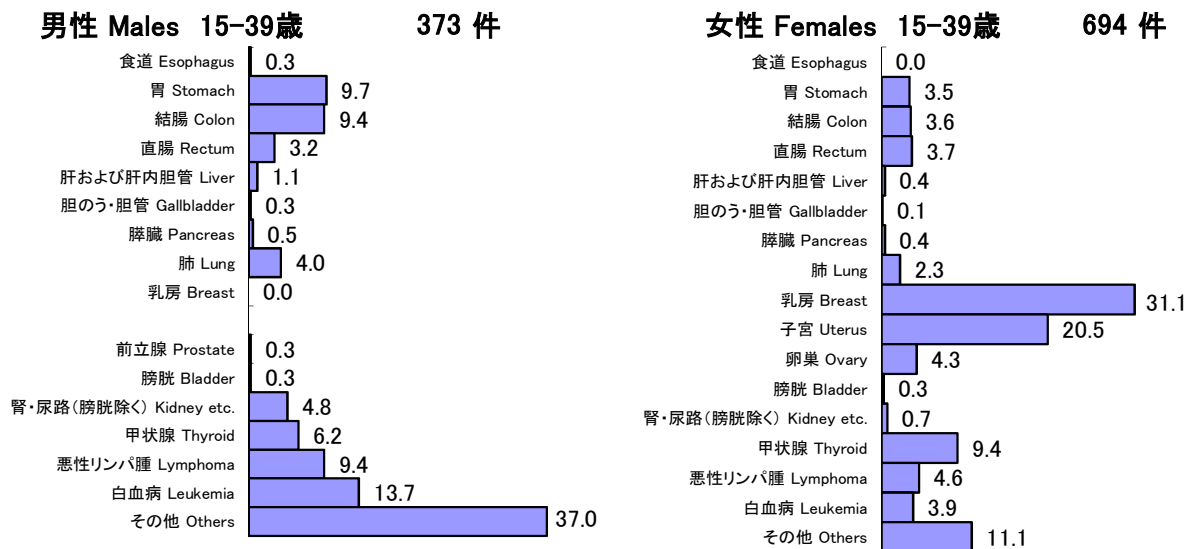
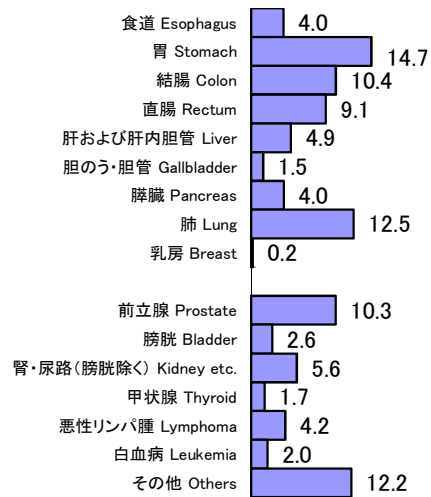


図3 年齢別部位内訳(%) (表2-Aから作成)

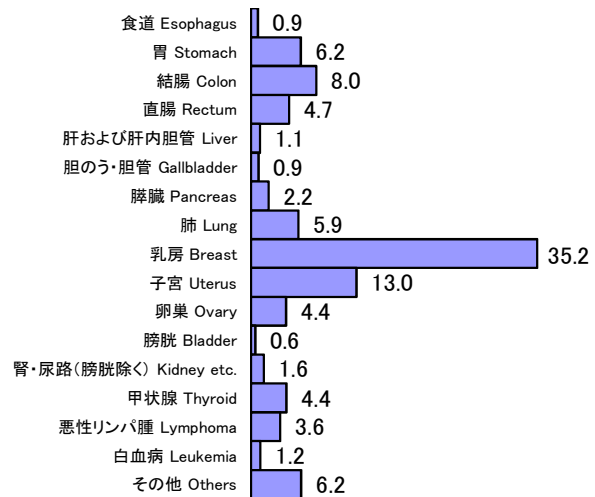
Figure 3 Percentage of Gender- and Age- Specific incidence by Cancer site



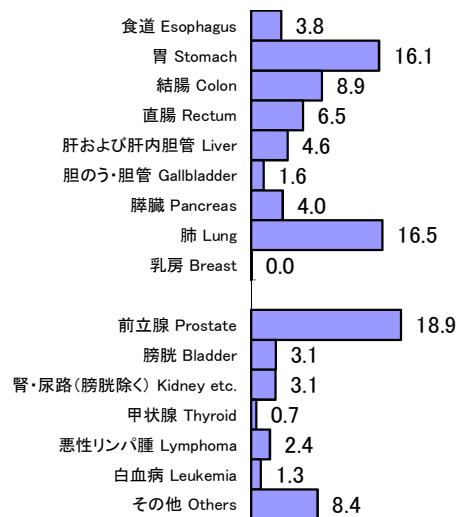
男性 Males 40-64歳 5,589件



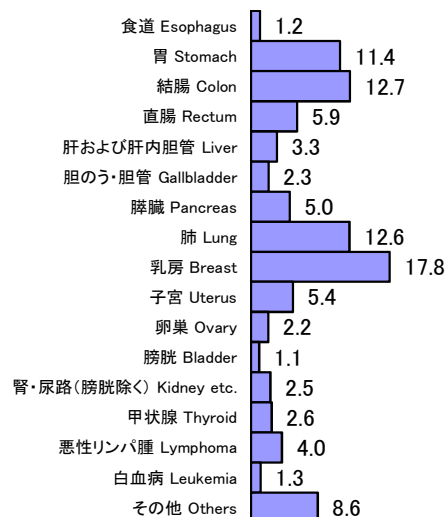
女性 Females 40-64歳 5,632件



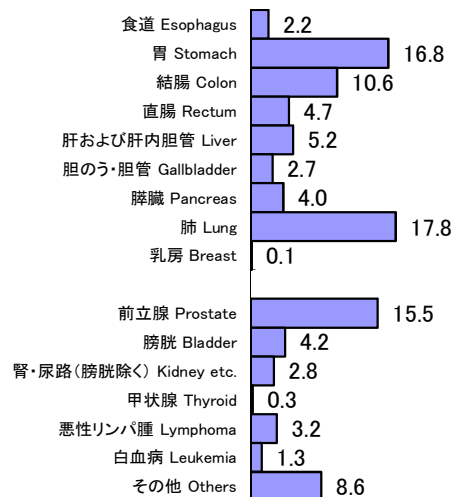
男性 Males 65-74歳 9,575件



女性 Females 65-74歳 4,869件



男性 Males 75歳以上 10,338件



女性 Females 75歳以上 6,867件

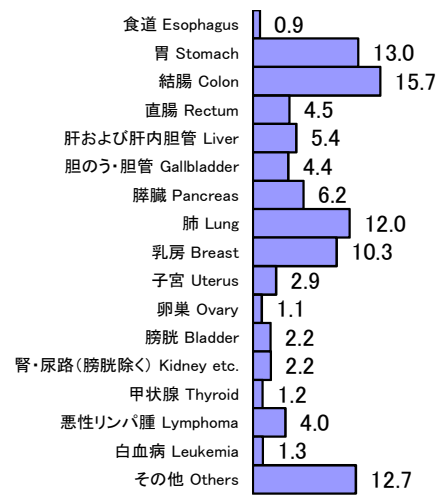
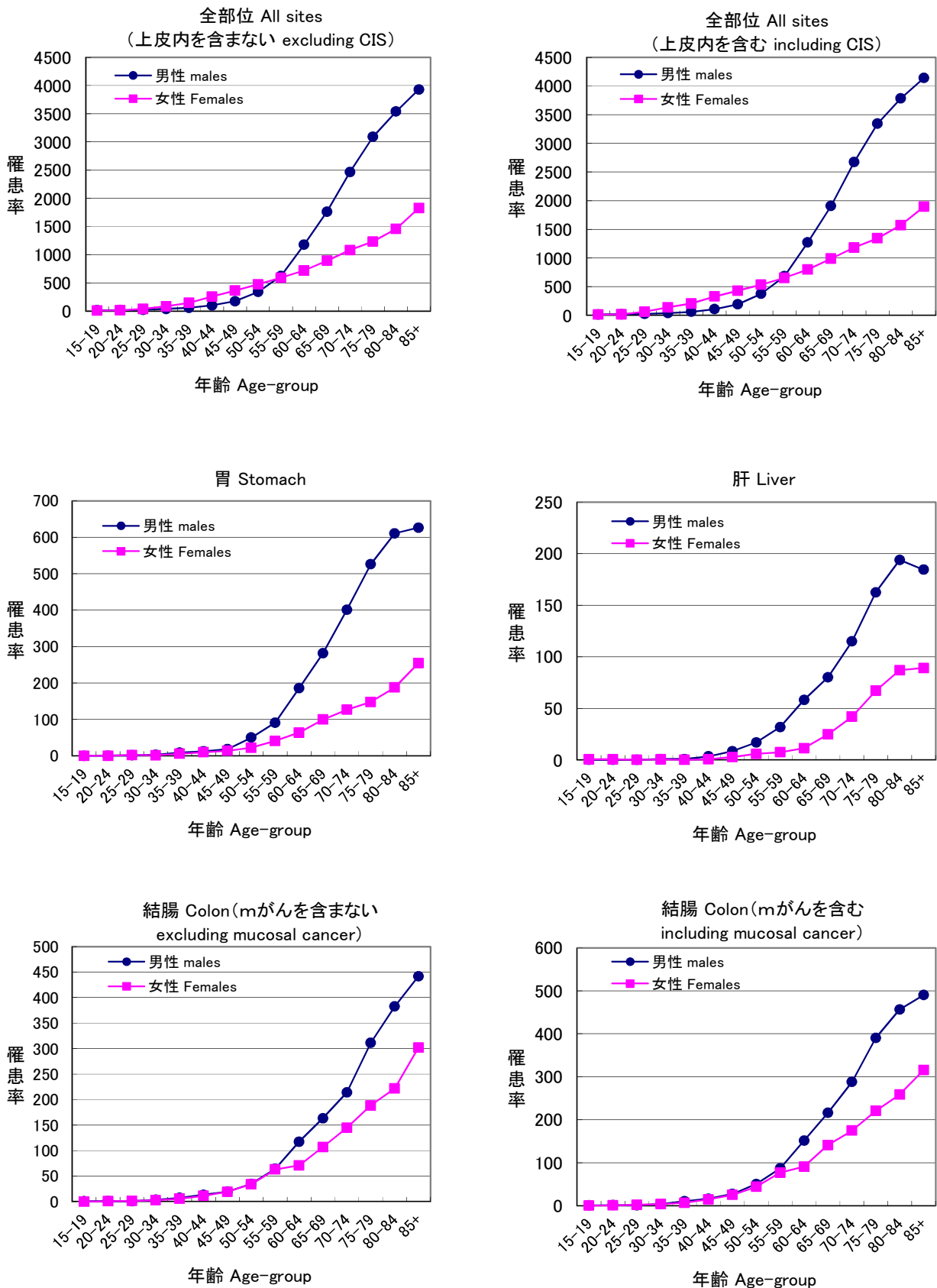


図4 部位別年齢階級別罹患率:人口10万対 (表3-A、Bから作成)
 Figure 4 Age-Specific Incidence Rates by Cancer site



注)mがんについて:我が国の地域がん登録では、大腸(結腸及び直腸)の粘膜内がん(mがん)は上皮内がんとして扱う。

